

WWL 東京研修に行ってきました

8月7日（月）、8日（火）に WWL 事業の一環で東京研修に行ってきました。

1 日目は JICA 地球広場、企業訪問へ行きました。

JICA 地球広場ではワークショップを行い、青年海外協力隊の活動や発展途上国の現状について学びました。



感想

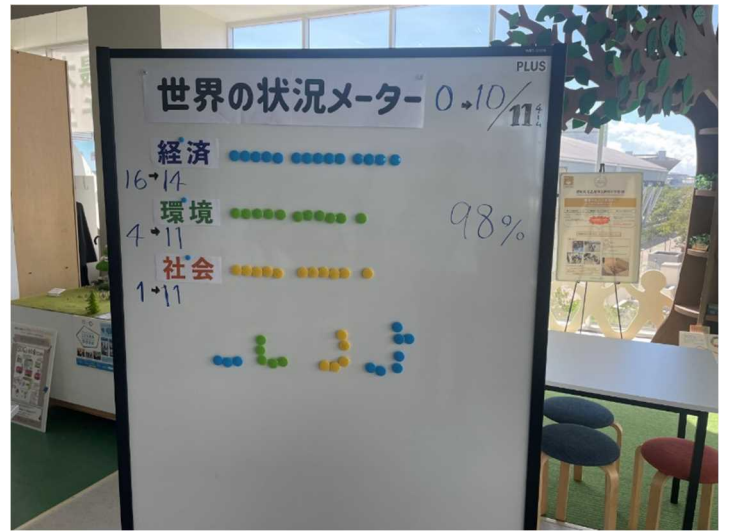
- 今まで見たことのない貧しい国での生活の再現などをたくさん見ることができて、私が知らない暮らしの形はたくさんあるのだと感じた。そこで、よりよい解決策を見つけるためにも、もっとたくさん発展途上国での暮らしについて深く知ることが大切だと思った。
- 青年海外協力隊の参加資格や具体的に何をすることが分かった。いくつかのカテゴリーに分けて活動していることを初めて知った。自分でも参加できることに驚いた。

企業訪問ではマルハニチロ株式会社と大正製薬株式会社へ分散訪問し、各企業での SDGs の取り組みについて学びました。また、企業の取り組みに対して、本校生徒の意見を聞いていただきました。その後、企業分散で学んだことをまとめ、発表をしました。



2 日目は Small Worlds Tokyo と日本科学未来館へ行きました。

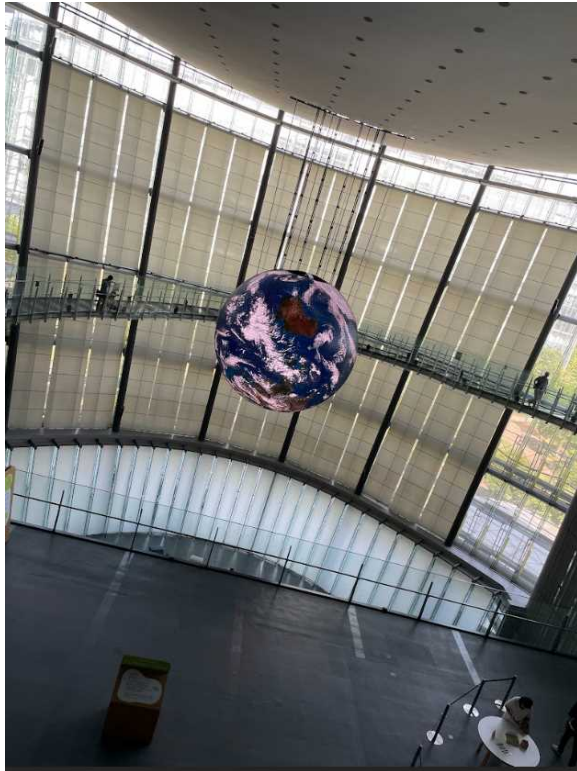
Small Worlds Tokyo ではシミュレーションカードゲーム「2030SDGs」を体験しました。
SDGs を達成するには協力が必要不可欠であることをゲーム内の活動から学びました。



感想

- SDGs は“誰 1 人取り残さない”ことが大切だということを再確認できた。
- SDGs の 17 の目標はすべて繋がっており、1 つに絞るのではなく同時解決が大切であることを学んだ。
- 何かをすごく良くしようとする発想は大事だが、その分、他のところにマイナスが出てしまうならば、それは良い判断とは言えない。何事もバランスを重視していくことが大切だと思った。

日本科学未来館ではさまざまな展示を見学しました。特にプラスチックごみに関する展示では研究者たちの意見に加えて、小学生など、来館者の素朴な疑問が載せられており、とても参考になりました。



感想

- SNS を用いた「Pirica」（ピリカ）というごみ拾い活動を初めて知った。日本科学未来館に行かなければ知らないままだったので、新しいことを知れて本当に良かった。ピリカについてもっと調べたい。
- 今後、技術が進歩すると音楽・情報・通信・移動・計算の分野で人工知能が人間を上回ることを知った。そうなったときに、人工知能は人間に対して悪い影響を与えるのか疑問に思った。
- 仮想空間のようなものが実現したら、見た目も性別も人間であるかどうかとも関係なくなり、ジェンダー平等という言葉もなくなるかもしれないと思った。

2日間の東京研修はとても充実したものになりました。特に企業訪問では普段知ることできない企業の話を拝聞し、貴重な経験となりました。研修で学んだことを活かし、今後も探究活動を行っていきたいと思います。